

2021~2022年度 YAMAGATA EVENING ROTARY CLUB 山形イブニングロータリークラブ会報

第847回例会(第10回例会) 2021年10月25日 事務局
山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2階
TEL 023-632-7777 FAX 023-624-5200
E-mail: evening09@rid2800.jp
H P: https://www.yere-rc.com

例会場: パレスグランデール 例会日: 月曜日18:30~
会長◎金田史生



金田会長挨拶



皆さまこんばんは！本日も例会出席誠にありがとうございます。

先ず初めに本日のゲストをご紹介します。国際RC第2800地区米山奨学・学友委員会委員長「芦野茂」様です。芦野様には後ほど本日のプログラムにおいて卓話をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、いま最大の関心事と言えばやはり「総選挙」でしょう。国政選挙である「衆議院議員総選挙」が行われるのは4年振り。任期をほぼ全うしての選挙になるのは2009年以来のこと。このいる皆さんは勿論投票に行かれると思いますが、問題はこの投票率です。近年は国政選挙に関わらずどんな選挙でも概ね50~55%程度で推移しており、政治に無関心な人が増えております。投票率を上げようと政府や各自治体も様々な対策を打ち出していますが、先日改めて実感した瞬間がありました。それは「選挙権年齢の引き下げ=2016年に施行された18歳選挙権」を目の当たりにしたときでした。私は3人の子どもがいるのですが、三女が18歳ということで「投票用紙」なるものが郵送されてきました。これまでは20歳以上にしか送られてこなかったものがきて、一瞬「？」となり「あ〜！」と気付いたわけです。身近に起きないと気付かないものですね。それで当の本人(三女)は「コレどうするの？」と解らない様子だったので、親としてしっかりと「教育、しました(笑)。

持論ですが「選挙権を放棄した人、棄権した人には、政治(行政)が決定した決め事には文句を言えない」と思います。例えば、コロナ禍における給付金とかが「投票した人だけ」としても文句は言えないのです。たった数票で結果が変わる(政治を変える)ことだってあるということを、ひとりの親として、一企業の経営者としてしっかりと教えて行かなければならないでしょう。

芦野地区委員長卓話

第847回例会は、芦野 茂第2800地区米山奨学・学友委員会委員長から米山奨学事業の概要について卓話いただきました。

ロータリー米山奨学事業は、日本ロータリー独自の事業であり、日本で学ぶ外国人留学生の支援を目的としており、財団法人が設立されています。2021年度では910人もの奨学生(うち当地区13人)が採用され、累計では129の国と地域から22,267人にもものぼっております。米山奨学生採用には全国统一基準があります。奨学会財源は全て寄付によって運営されています。2020年は13億4,000万円であり、クラブから会員数分納める「普通寄付金」と個人法人等からの「特別寄付金」から成り立っています。寄付金のほとんどが奨学事業に充てられ、管理費はわずか3%です。2800地区では一人当たりの平均寄付額は11,334円と全国平均(15,516円)に及ばないのですが、会員皆様のご寄付に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援宜しくお願いいたします。(芦野委員長からいただいた資料を基に後藤が纏めました。文責:後藤卓也)

タイムスケジュール

時間(タイムスケジュール)

- 18:30 開会点鐘 : 金田会長
- RCソング (黙唱)
- ロータリー目的唱和 (黙唱)
- 18:35 会長挨拶 : 金田会長
- 18:40 幹事報告 : 浦山幹事
- 18:43 委員会報告
- 18:46 ニコニコBOX ※食事開始

本日のプログラム/講師卓話

- 19:05 『米山奨学会について』
第2800地区米山奨学・学友委員会 芦野茂委員長
- 19:30 閉会点鐘 : 金田会長

幹事報告

本日のプログラムは、第2800地区米山奨学・学友委員会の芦野茂委員長をお迎えし、米山奨学会のお話をさせていただきます。11月は、1日が休会、8日、15日、29日に例会を開催します。15日は、山形一寸亭での親睦例会となりますので、奮ってご参加ください。なお、卓話をいただく方の選定に苦慮しておりますので、ぜひご紹介ください。

ニコニコBOX

芦野茂地区委員長、石島直樹さん、金子修さん、金田史生さん、松岡友路さんからニコニコをいただきました。

◆出席報告

	会員総数	出席義務 会員数	出席会員数	出席率
本日	23	-	12	-

